

商工まるわかり通信 No.17

学びながら働く、新しい進路のカタチ 進学でも就職でもない、もうひとつの道

「高校を卒業したら、すぐに働くか、進学するか」

そう考えている中学生・保護者のみなさんに、もうひとつの選択肢を知ってほしい——。
それが“企業内教育機関”です。

企業内教育機関は、大手企業が人材育成のために設けた「社員のための学校」のこと。
正式社員として給与をもらいながら、様々な専門分野を実践的に学び、
修了後は即戦力として活躍します。

今年度、本校からは4名の生徒が全国の企業内教育機関に内定。（10月23日時点）
トヨタ、デンソー、クボタ、大同特殊鋼など、日本の製造業を支える一流企業で、
全国で数%の狭き門といわれる人気の進路です。

そんな企業内学園に鹿本商工生が次々と挑戦し、合格しているのは、
専門実習・資格取得・学校生活を通じて、「技術」と「人間力」を磨いているから。

「卒業してすぐに働くより、確かな技術を学んでから社会に出たい」 就職でも進学でもない、“第三の進路”。

確かな技術を身につけてから社会に出たい生徒にとって、理想的な道です。

鹿本商工高校では、こうした企業内教育機関への受験サポートも充実。
模擬面接や筆記対策はもちろん、卒業生や企業担当者とのつながりを活かし、
一人ひとりの夢の実現を全力でバックアップしています。

「高校3年間で“基礎”を固め、社会人としての一歩を踏み出す」 鹿本商工だからこそ、開ける未来があります。